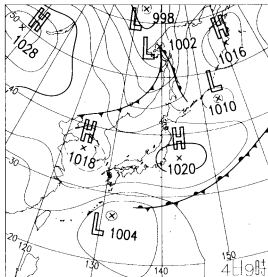


# 日々の天気図

— No. 29

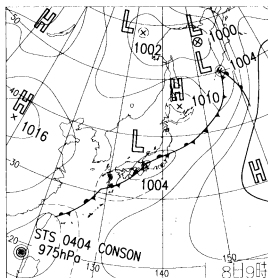
## 2004年 6月

- ・9日～11日、台風第4号により九州・四国・沖縄を中心に大荒れ。那覇市・屋久島で日雨量200mm超。
- ・21日、台風第6号が室戸市付近に上陸。室戸岬の最大瞬間風速57.1m/s、尾鷲市で3時間雨量162mm。
- ・24日～27日、梅雨前線が停滞し九州北部で大雨。長崎県佐世保市・福岡県行橋市等で4日間雨量350mm超。
- ・30日、静岡市で豪雨。87.5mm/hの猛烈な雨を伴い、1時間雨量368mmの猛烈な雨を伴い。(気象庁予報部予報課)



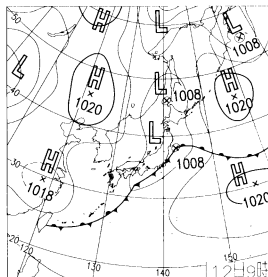
### 4日(金) 福岡最小湿度10%

上空に寒気を伴う低気圧が沖縄付近に停滞し、南西諸島は曇りや雨。その他は高気圧に覆われ、晴れて空気が乾燥。福岡で6月の最小湿度の記録更新。



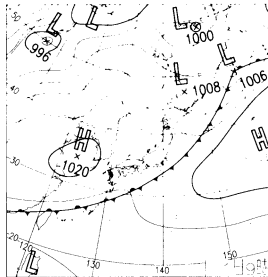
### 8日(火) 沖縄地方で短時間強雨

前線の影響で全国的に曇りや雨。暖かく湿った空気が入る沖縄地方は、大気の状態が不安定となり激しい雨。読谷村で14時に39mm/h、西表島で18時までに95.0mm/3hの大雨。



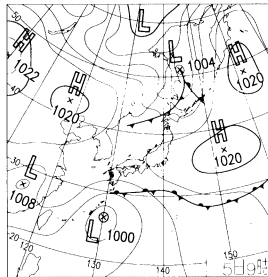
### 12日(土) 青森で震度4

前線が本州南岸から南西諸島に停滞。全国的に曇りや北陸と中国地方で雨。近畿では気温が低く、大阪の最高気温は平年より4.5℃低い22.8℃と5月上旬並。



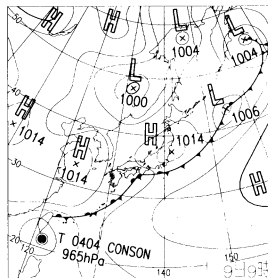
### 1日(火) ナウキャスト予報開始

前線が南下し、高気圧に覆われ全国的に晴れや曇り。関東は北東風で雨。午後から曇り。ナウキャスト予報始まる。気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」デビュー。



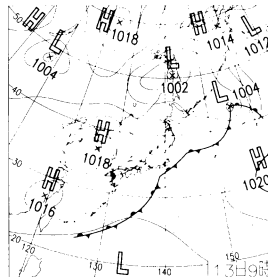
### 5日(土) 梅雨前線ゆっくり北上

北海道は寒冷前線の通過により曇りや雨。本州は高気圧に覆われて曇やかな晴天。南西諸島は動きの遅い低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨。梅雨前線はゆっくり北上。



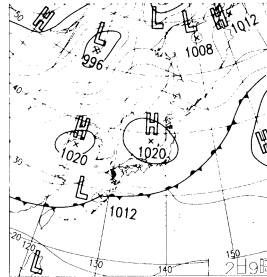
### 9日(水) 台風先島諸島に接近

梅雨前線は本州の南岸に停滞し、東・西日本の太平洋側は曇りや雨。沖縄は台風第4号の接近により午後から雨。風が強まる。読谷村で52mm/hの短時間強雨。那覇市の日雨量215mm。



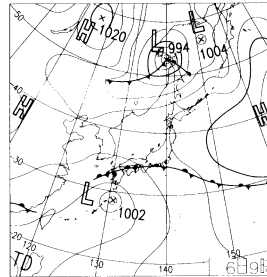
### 13日(日) 台風第6号発生

前線に近い関東～東海は曇りや雨。その他は全国的に晴れ。熊本岱明町で最高気温32.1℃。台風第5号は熱帯低気圧となり、カロリン諸島で第6号が発生。



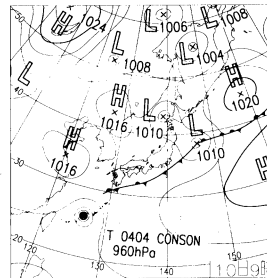
### 2日(水) 南岸に梅雨前線停滞

低気圧や前線により九州南部や沖縄には雨。鹿児島県十島村では36mm/hの激しい雨を伴い、日雨量180mm。その他は北・東日本を中心に概ね晴れ。東京では日量(ひがき)を観測。



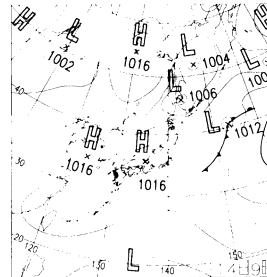
### 6日(日) 関東甲信まで梅雨入り

梅雨前線が本州まで北上し、東・西日本は全般に雨。近畿・東海・関東甲信地方が梅雨入り。東京都神津島で35mm/hの雨。北日本や南西諸島は晴れ。尾鷲・京都などでアジサイ開花。



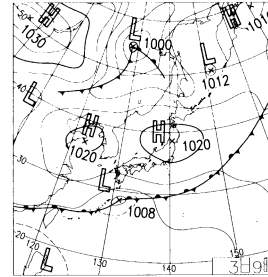
### 10日(木) 南西諸島大荒れ

北海道は低気圧が通過し雨。その他は曇りや晴れ。台風第4号により南西諸島は雨・風とも強く、大荒れ。宮古島で最大瞬間風速51.5m/s。沖縄県国頭村で62mm/hの非常に激しい雨。



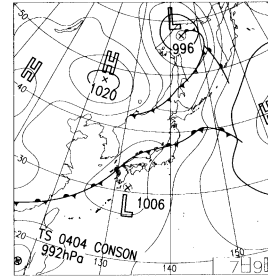
### 14日(月) 全国的に爽やかな青空

日本付近は乾燥した高気圧に覆われ全国的に晴れ。長野県吾平の最低気温は、放射冷却により4月中旬並の0.2℃。札幌市の最高気温は、フェーン現象も加わり真夏並の30.6℃。



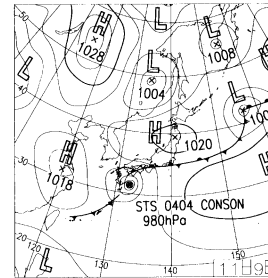
### 3日(木) アジサイ開花関東へ

梅雨前線上の低気圧が九州の南海上にあり、南西諸島は雨。関東から西の太平洋側は曇りで、その他は晴れ。昨日の東京に続き、大島でアジサイが開花。



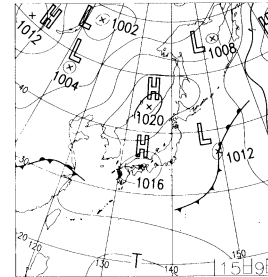
### 7日(月) 北陸・東北梅雨入り

梅雨前線は北陸～東北地方まで北上し、この地方も梅雨入り。関東～東海には南から暖湿気が入り、静岡市入島39mm/h、千葉市35.5mm/hの激しい雨。南シナ海で台風第4号発生。



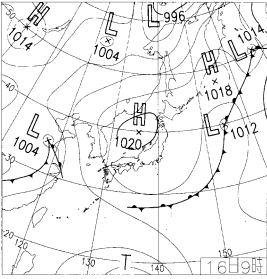
### 11日(金) 台風室戸市付近に上陸

台風第4号は16時頃室戸市付近に上陸。台風や前線により、四国・中国～関東は雨。九州は雨の曇り。室戸市の最大瞬間風速39.1m/s。屋久島は2日間で300mmを超える大雨。

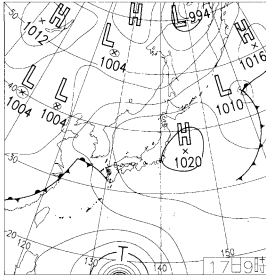


### 15日(火) 東・西日本真夏日

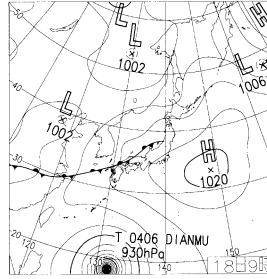
寒気を伴う気圧の谷の通過により、北日本は朝のうら雨や雷雨。の晴れ。その他は高気圧に覆われ、晴れて気温上昇。東・西日本の広い範囲で真夏日。



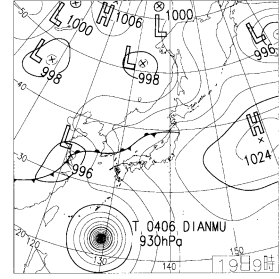
**16日(水)全国的に快晴**  
移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れ。9時の観測では、全国の気象官署の過半数が快晴。東海～九州北部にかけて真夏日となり、大阪で最高気温33.7℃。



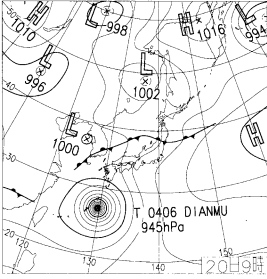
**17日(木)西日本中心に真夏日**  
本州の東海上の高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れ。西日本を中心に真夏日の所が多く、大分日田市の最高気温は34.0℃。九州は前線の接近により、昼過ぎから曇りや雨。



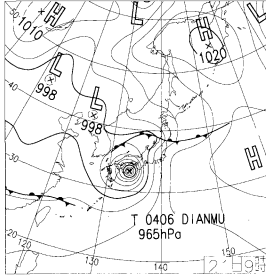
**18日(金)全国で暑が続く**  
日本海の前線に向かって湿った空気が入り、西日本の日本海側や九州は雨。北海道や関東～近畿は晴れ。北海道の最高気温は平年より5～10℃程度高く、真夏並。



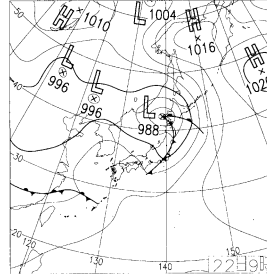
**19日(土)台風第6号北上続く**  
太平洋高気圧が関東～近畿に張り出し、梅雨前線は東北地方まで北上。台風は沖縄の南海上を北上し、沖縄は昼から雨、夜には暴風域に入る。西日本は昼過ぎから次第に雨。



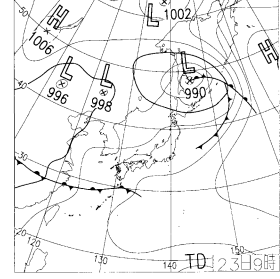
**20日(日)台風とフェーン現象**  
台風第6号が沖縄本島の東を北上。最大瞬間風速は南大東島48.7m/s、那覇31.4m/s。九州北部はフェーン現象で気温が上昇し、各地で6月の最高気温を更新。福岡で37.3℃。



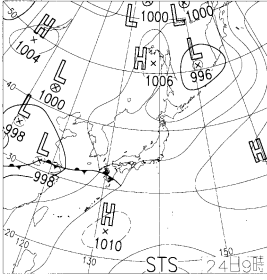
**21日(月)台風第6号四国に上陸**  
台風第6号は室戸市付近に上陸。室戸市の最大瞬間風速57.1m/s。尾鷲市では64mm/hの雨。6月に四国に2個の台風が上陸したのは観測史上初。強風や高波により、交通障害等多発。



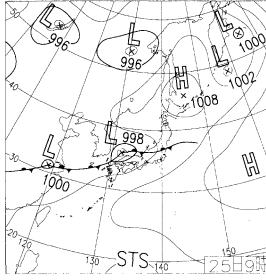
**22日(火)東・西日本台風一過**  
台風第6号は日本海で温帯低気圧となり、オホーツク海に進む。北日本は雨。東・西日本は晴れ。暖気が入った東北地方～東海は真夏並。群馬県榛名町の37.5℃は6月の記録更新。



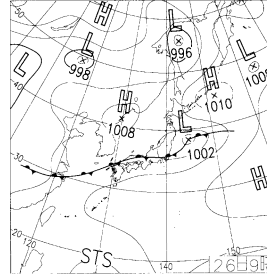
**23日(水)沖縄梅雨明け**  
太平洋高気圧が南西諸島に張り出し、梅雨前線は九州付近まで北上。沖縄は平年並の梅雨明け。最高気温は全国的に高く、7月～真夏並。マリアナ諸島で台風第7号が発生。



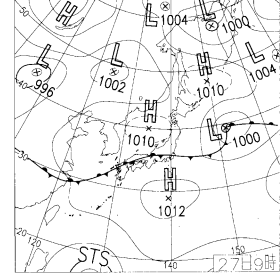
**24日(木)九州北部で激しい雨**  
九州で梅雨前線の活動が活発化。長崎有川町で9時に47mm/hの激しい雨。日雨量は長崎県の平戸市で123.5mm。佐賀県の伊万里市で102mm。奄美で平年より4日早い梅雨明け。



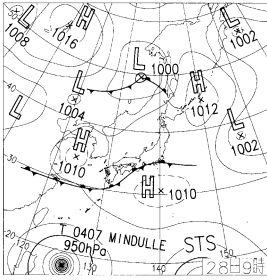
**25日(金)梅雨前線の活動活発**  
梅雨前線により、東北地方～九州北部の広い範囲で雨。九州北部は大雨。山口県柳井市47mm/h。静岡県三島市39.5mm/h等、各地で激しい雨。北海道や南西諸島は晴れ。



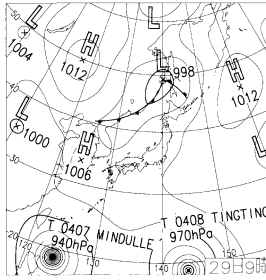
**26日(土)今月5個目の台風発生**  
九州北部は梅雨前線による大雨が続く。40～70mm/hの激しい雨を伴い、日雨量150～200mm。トラック諸島で台風第8号発生。6月に5個の台風発生は1951年以降の最多記録。



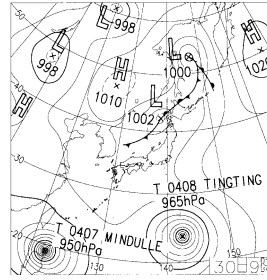
**27日(日)佐賀市で竜巻発生**  
前線が停滞し、九州北部は大雨が続く。佐世保市や平戸市等では4日間雨量が300mmを超える。佐賀市で7時20分頃竜巻発生。屋根が飛ばすなど大きな被害。



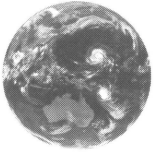
**28日(月)九州北部に青空戻る**  
梅雨前線は活動が弱まり、ゆっくりと南下。九州北部には23日以来の久しぶりの青空戻る。北海道は晴れ。その他は、上空の気圧の谷の影響で曇りや雨、山沿いは雷雨。



**29日(火)全国的に晴れる**  
高気圧に緩やかに覆われ全国的に晴れるが、上空の寒気の影響で午後には所々で雷雨。最高気温は東・西日本を中心に平年より高い。網走では平年より8.8℃高い26.9℃。

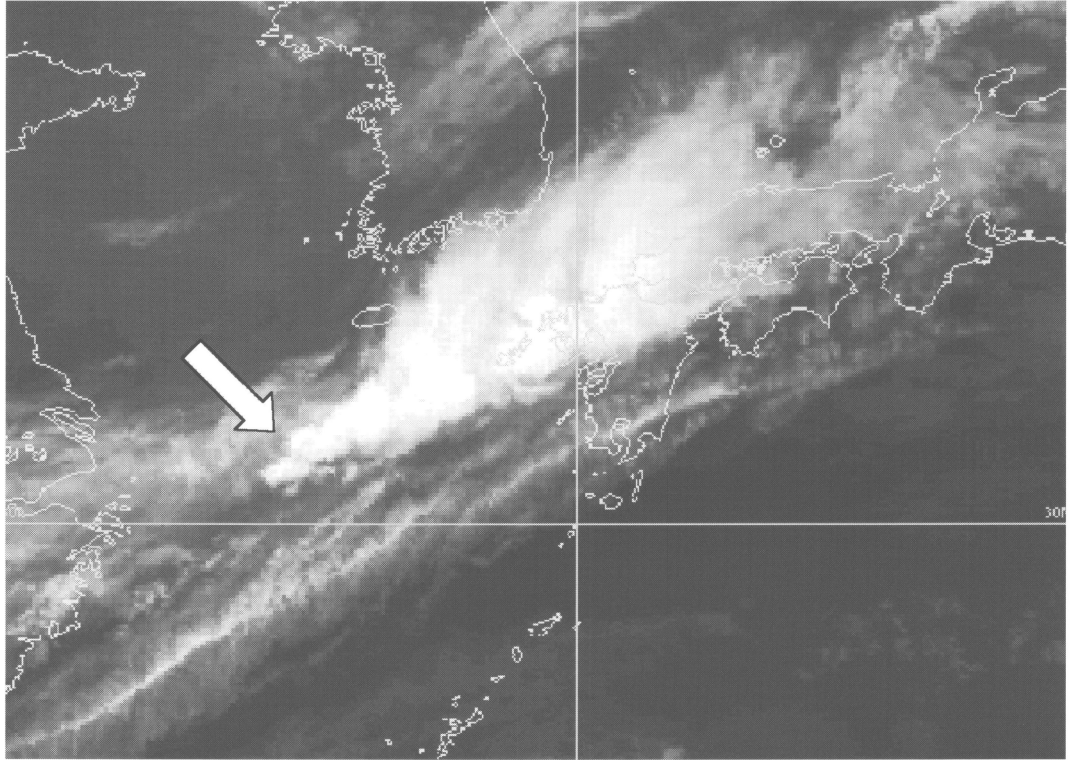


**30日(水)静岡市で記録的な豪雨**  
暖かく湿った空気と上空の寒気の影響で四国～関東で雷雨。静岡市では極値更新となる87.5mm/h。日雨量368mmの豪雨。東海道新幹線が一部運休。北日本は低気圧が通過し雨。



## 今月の衛星画像—2004年6月

### テーパリングクラウドとつつ巻



2004年6月27日06時の可視画像

6月27日朝、佐賀県でつつ巻が発生した。特に、佐賀市では、幅約200 m、長さ8 km にわたって、電柱の倒壊、自動車の横転、住宅300棟以上の屋根がはがされるなど多大な被害を受けた。気象庁の1971年からの統計では、100戸を越す被害が出たつつ巻は全体の5～6%で今回のつつ巻はかなり大きな部類に入る。

写真は27日6時の赤外画像である。華中から西日本にかけ梅雨前線に対応する雲バンドが東西に伸びている。なかでも、東シナ海から九州北部に見られる白く輝く雲の付近には日本の南に中心を持つ太平洋高気圧から暖かく湿った気塊が流入し、発達した積乱雲が毛

筆状（あるいは、にんじん状）を呈している。このような風上にむかって次第に細くなっている雲域（矢印）をテーパリングクラウドと呼び、この雲の下では激しい雨や雷・突風・雹などのシビア現象が起り易いことが知られている。佐賀市や鳥栖市を襲ったつつ巻は、この時間長崎県五島列島付近にある積乱雲が通過する際に発生したものと思われる。

なお、佐賀地方気象台による被害状況等の詳細な現地調査の結果、佐賀市でのつつ巻による突風は最大で50～69 m/s程度と推定された。

(気象衛星センター)